

長久手古戦場公園に関する年表

和暦	西暦	内容
天正10年	1582	6月 織田信長、本能寺で明智光秀に滅ばされる。
天正12年	1584	3月 6日 織田信雄方、三家老を切り、羽柴（のちの豊臣）秀吉と戦闘状態に入る。
		3月12日 織田信雄方、伊勢亀山を攻める。（戦いの始まり）
		3月13日 池田恒興・森長可、犬山城を攻撃、落城させる。
		3月17日 （羽黒の戦い） 家康の武将酒井忠次らが羽黒で森長可に大勝
		3月27日 羽柴（のちの豊臣）秀吉、楽田に着陣
		3月28日 徳川家康、小牧山へ陣替え
		4月 6日 （長久手の戦い） 三好（のちの豊臣）秀次、小幡・龍泉寺方面へ進軍
		4月 8日 両軍長久手へ進軍。
		4月 9日 （白山林の戦い） 三好（のちの豊臣）秀次、白山林で榊原康政らに背後を襲われ総崩れとなる。
		同 （桧ヶ根の戦い） 堀秀正軍の総攻撃により徳川先発隊が大打撃を受ける。
		同 （仏ヶ根の決戦） 徳川本隊が色金山周辺から富士ヶ峰（御旗山）へ進軍し仏ヶ根、前山に陣を構え、激戦となる。池田恒興・森長可、仏ヶ根で討死。
		同 秀吉が率いる軍勢が楽田を出発。
		同 家康、小牧山へ戻る。長久手の合戦が終わる。
		11月15日 羽柴（のちの豊臣）秀吉、織田信雄と和議成立。
文禄元年	1592	富士浅間社、浅井助左衛門により創建。
寛文11年	1671	『寛文村々覚書』編纂。
元禄10年	1697	朝日文左衛門、長久手古戦場を見物。（『鸚鵡籠中記』）
宝永3年	1706	尾張藩士福富親茂が、床机石と首塚に銘を刻み、宝永の石柱を建てる。
明和 8年	1771	尾張藩士人見彌右衛門、赤林孫七郎により明和の碑建立。 （庄九郎塚、勝入塚、武蔵塚）
文政5年	1822	樋口好古、『尾張徇行記』編纂完了。
明治24年	1891	明治の碑 建立
明治43年	1910	地元有志が、床机石と首塚に漢文碑を建てる。
昭和14年	1939	9月7日 国の史跡に指定される。
昭和31年	1956	長久手村の棒の手、県無形民俗文化財に指定
昭和34年	1959	伊勢湾台風
昭和40年	1959	城屋敷90-1、90-2、12月指定解除（鎧掛け松と血の池）
昭和42年	1967	長久手土地改良区、土地改良事業着手
昭和46年	1967	町制施行により長久手町となる
昭和49年	1974	長湫東部土地区画整理組合設立
昭和52年	1977	長久手町文化財保護条例制定
昭和56年	1983	長湫中部土地区画整理組合設立
昭和58年	1983	国の指定に漏れたいくつかを町指定とする。（長久手城趾、堀久太郎秀政本陣地跡、木下勘解由塚）
		長久手町郷土史研究会設立
昭和60年	1985	長久手市郷土資料室供用開始
		岩作の「オマント」 県無形民俗文化財に指定
昭和61年	1986	長久手古戦場公園供用開始
平成 8年	1996	色金山歴史公園供用開始
平成17年	2005	リニモ開業
		2005年日本国際博覧会開催（「愛・地球博」）
		長湫の警固祭り 県無形民俗文化財に指定
平成18年	2006	愛・地球博記念公園開園
平成24年	2012	市制施行により長久手市へ